

編 集 後 記

冒頭でもお知らせしましたように、2009年第36回IUPS Congressを日本へ招致することが決まりました。わが国でのIUPS大会開催は44年ぶりのことであり、日本生理学会にとって大事業です。1965年大会のことを記憶されている会員はずいぶん少なくなっていました。私自身もまだ研究室に入ったばかりの頃でしたが、その時の興奮は昨日のことに覚えています。日本で国際大会を主催することは、わが国の生理学を世界で正しく評価してもらうとてもよい機会であると思います。われわれもこのようなすばらしい研究をしているのだというところを、世界の研究者たちに見てもらおうではありませんか。

8年間という準備期間は長いようでもすぐに来

てしまいます。わが国の生理学を飛躍させるべく全会員のご努力、ご協力をお願いいたします。

ChristchurchのIUPS大会では会期中ずっと動物実験反対のデモが会場を取り囲みました。IUPS理事会側も現地のテレビ、ラジオ、新聞などのメディアを通じて医学・生理学の研究になぜ動物実験が必要なのかということ、また、研究者自身も動物福祉に関する法規やガイドラインを遵守して研究を行っていることを訴え続けてきました。動物実験なくして生理学の研究はありえません。その必要性を正しく認識してもらうのも一部はわれわれの責任でもありましょう。

(金子章道)

*編集執行委員

編 集 委 員

*金子 章道 (編集幹事) (感覚)	青木 藩 (呼吸)
小野田法彦 (感覚)	河南 洋 (自律神経, 内分泌)
*工藤 典雄 (運動, 発生・成長・老化)	窪田 隆裕 (腎・体液)
黒島 晟汎 (環境)	*小西 真人 (筋)
佐久間康夫 (生殖)	*佐々木成人 (運動)
高田 明和 (血液)	菅屋 潤壹 (栄養・代謝・体温)
*高松 研 (神経化学)	土居 勝彦 (心臓・循環)
*入來 篤史 (感覚, 運動, 高次中枢)	成瀬 達 (消化・吸収)
辻岡 克彦 (循環)	*川上 順子 (感覚)
村上 政隆 (膜輸送)	福田 淳 (感覚, 高次中枢)
小山 なつ (HP担当)	吉岡 利忠 (体力)

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603 (勤務時間10：30～18：30)
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp
URL：http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/